

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年1月25日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103102号
法人名	医療法人春風会
事業所名	グループホーム明和の家
所在地	鹿児島市明和5丁目1-15 (電話) 099-218-9121
自己評価作成日	平成23年1月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年1月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節を感じる行事には大変力を入れております。春は筍を泥付きで持参し、ホームの床は泥だらけになります。つわの時期は指先と爪は真っ黒になります。梅の時期はみんなで下処理をします。シソの葉も一枚一枚丁寧に摘んで下さいます。味噌作りの時期は発酵する麴でホール中、味噌の香りが漂います。今の時期は自家性シイタケを頂くので、毎日乾燥させる為に、お日様に併せて籠を移動させる事を日課にされている方もあります。年末に向けてソバを作る為に、山芋を畑から収穫し、年越しソバ作りのお手伝いが始まります。床や衣類は粉まみれで後始末が大変ですが、利用者は満面の笑顔で「私がするから」とお互いに譲られません。可愛い家庭菜園で収穫した野菜の下処理も快く手伝って下さる等、家事活動を楽しんで頂いております。

ホームは団地のなかの高台に建てられており、広く明るいフロアから眺める景観は四季を感じ、利用者の五感を刺激できる場である。ホームは季節ごとの行事に大変力を入れており利用者の力の発揮どころであり、楽しみの一つとなっている。地域との交流も、奉仕作業や、地域イベントへの参加、また防災訓練への呼びかけなど積極的であり、地域住民として関わっている。地域包括センターや市町村とも連携を図り協力体制が整っており、医療方面でも24時間体制で対応でき、専門医との連携も取られ、利用者や家族の安心が得られている。職員は設立時からの人も多く、管理者は気づきやアイデアを運営に取り入れたり、職員教育も充実しており、質の確保にもつなげている。利用者のケアに活かす努力が見られるホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設当初から地域密着型を視野に入れて法人全体で理念を作成し、毎朝の申し送り時全員で唱和し、ケアへの振り返りを行い実践につなげております。	理念は地域密着型サービスを踏まえて作成され、職員も新年度ごとの抱負と目標を発表してもらい毎朝の唱和で実践につなげている。今年は10年目を迎えるため、更なる振り返りの時期であることを認識し理念の共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会へ加入し、定期総会・地域奉仕作業・班会等に参加し、情報発信を行ったり、避難訓練時は地域に案内を配布し、参加して頂いております。	当ホームは安心ネットワーク町内会として表彰を受けた地域に在り、公民館の清掃や草取り、剪定などの奉仕作業に参加し、またチリ収集車の後の水を準備するなど、地域と深く関わることで情報交換の場を作り出すつきあいをしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	町内会班会や地域作業に積極的に参加したり、運営推進会議を通じてホームの情報を提供致しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月発行される「明和の家の新聞」を運営推進会議にて配布し、活動状況や地域からの入所相談等の情報を提供し、そこで出された内容については、毎日の申し送りを通じて職員に報告致しております。	運営推進会議は民生委員や地域包括センター職員、家族代表などを交えて、防災訓練も兼ねた取組みである。ホームの活動内容や職員の移動、退去、苦情や相談、また外部評価の内容を記載した新聞を配布し、そこでの意見を職員や管理者はサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課・生活保護課に出かけてホームの情報を伝えたり、地域の方からの相談時は地域包括支援センターとの連携を図っております。	利用者は生活保護受給者もいるため、市町村担当者に相談など密に連携を取っている。また市町村からの情報も回覧し職員全員で共有し、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月、ミーティングで身体拘束委員会を開催し、特に3原則について確認したり、身体拘束の弊害についても説明できるように研修に努めております。玄関の鍵は夜間は安全の為施錠致しております。	玄関の施錠はせず、外出傾向の利用者は同行と見守りで対処し、布団一枚落ちた音に職員が駆けつけるセンサーも据え付てある。室内で動き回る利用者は椅子などで動線を作り、ヒヤリハットの活用で事故への対策を考慮するなど、職員は身体拘束をしない実践のケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・計画作成者以外の者も自主的に研修に参加し、内部研修報告書と一緒に資料を回覧し、不用意な言動が虐待につながる事を意識するように努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修案内を回覧し希望者を募り参加の機会を設けております。また、年間の研修計画には必ず成年後見人制度と、高齢者虐待について組込み、参加・発表するように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	本人に見学に来て頂き意思確認を行い、納得された方には入居申し込みをしていただいております。また、契約時は時間をかけて十分に説明を行い、理解・納得が図れるように努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設け、面会時には日常生活を報告し意見交換が出来るように努めております。また、県外の家族には電話でお伝えし、出された意見は必要に応じて運営推進会議や管理者会議にて代表者へ伝えております。	入所時に家族の方には、運営推進会議や市町村の相談窓口など、ホーム以外の外部の人に苦情や意見を表せる機会や場があることを告げ、面会時やホーム便りで交流を図り、言いやすい雰囲気づくりを目指している。出された意見や要望は管理者会議や朝夕のミーティングで検討し運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフミーティングで出された意見を管理者会議で報告したり、稟議書にて報告し就業環境の整備に努めております。	職員の意見や提案は、スタッフミーティングで聞く機会を設け、居室の入り口飾りや、レクリエーションのレパートリーを増やしたいなどのアイデアも活かされ、資格取得にも運営者や管理者は積極的であり、職員の資質向上確保に繋げている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は人事考課を取り入れ、稟議書を通じて昇格をお願いしたり、職員の就業環境整備に努め、代表者や人事課に相談を行ない、出された回答については申し送り時や個人的に報告致しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修希望者には本部に稟議書を提出し、費用を負担して頂いております。また、研修内容や勤務年数を考慮し負担にならない範囲を考慮致しております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ネットワークを通じて、同業者との交流を図れるように配慮されており、他のグループホームでの研修や交流の機会を活かし、我がホームケアの振り返りの場となるように努めております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談があった時点で自宅・入所・入院先を訪問し、SWの方や主治医からのご意見をお聞きし、家族・本人の意向と照らし合わせて、納得して入居できるように支援致しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族間で意思統一が図れているか、他のサービスを利用する等して住み続ける事はできないのか、環境が変わる事による弊害も説明し、本人・家族が納得して入居できるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今、何ができなくて本人・家族が困っているのか等、問題点について話し合いを行い、他のサービス紹介も行いながら入居の時期を検討致しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個人のできる動作能力に合わせて一緒に家事活動やレクリエーションをしたり、利用者同士が交流できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常生活で家族にお願いできる事は早めに報告して、家族の都合の良い日に一緒に外出して頂いたりして、家族との関わりが途切れないように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の制限をする事無く、自由に面会や・外出・外泊が出来るように支援致しております。特に、孫・ひ孫さんの面会にはとてもいい表情が見られます。	知人、友人が訪ねてきたり、家族との墓参りやなじみの美容室に出かけ、外食や外泊を楽しんでいる。縫い物を得意とする利用者や職員の指導で手芸に取り組むなど、なじみの関係が途切れない支援となっている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各個人のできる能力を見極め、利用者同士で補ったり、支え合えるように努めています。また、関係性に注意しトラブル回避に努めております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院期間が長引き退居になっても、治療終了後は希望があれば再入居する事が出来る事をお伝え致しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	危険を伴う場合は本人・家族と話し合いを行い、より安全な支援方法を検討し、利用者全員が安心して生活できるように努めております。	利用者のこれまでの生活習慣を把握し、気づきシートで一人ひとりの思いや暮らし方を検討している。爪を自分で切る習慣や針を使う方は職員と時間を決めて扱うなど、安心、安全のなか暮らし方の希望を取り入れた支援である。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の病歴・生活歴等、ケアに必要な情報収集・課題分析を行ない、カンファレンスを行い入居後の生活に反映させております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活・排泄パターンや既往歴等を考慮し、できる動作能力を見極めつつ、自信を持って生活できるように支援致しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎朝夕の申し送り時・ミーティング・申し送りノートを活用し、必要に応じてプランに反映させております。又、定期的にモニタリングを行い、現状に応じたケアプラン作成に努めております。	入所時本人、家族からの情報や希望をケアプランに取り入れ、ミーティングの前に入居中の現状を把握し、担当者を中心に話し合いのなか作成されている。また定期的にモニタリングと評価を行い、本人がより良く暮らせるための課題やケアを取り入れた介護計画であり現状に即している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居後は特に集中的に情報収集を行い、プランが現状に合っているか等モニタリングを行い、必要に応じてプランの変更を行うように努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ケアは毎日同じではない、時間・日・人という環境によりその都度変化する。その場面にに応じて柔軟なケアを行う為に情報の共有と記録を行い、統一したケアをえるように努めております。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の美容室の方に好みの長さや髪形にカットしてもらったり、ボランティア活動に来て頂いたりして、楽しみを持って生活ができるように支援致しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内服に合わせて受診介助や往診を利用し、急変時は外来看護師や24時間ホットラインを通じて医師に相談し、必要な医療サービスが利用できる体制を整えております。	本人の希望するかかりつけ医を家族の協力のもと受診し、緊急時は24時間体制で協力医療機関もある。また皮膚科の往診や認知症、歯科などの専門医との連携も取れ、適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在看護師は常勤しておりませんが、変化があれば支持母体の外来看護師・往診の看護師・薬剤師に報告・連絡・相談を行い、安心して生活を送れるように支援致しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院と同時に継続看護サマリーを作成し、入院先の看護師・SW・医師との連携を図り、安心して治療が受けられるように地域連携室との情報交換に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重症化した方の家族が「ホームで人間らしく生活して欲しい」と希望され、今回、訪問診療から在宅支援診療所に主治医が変更になりました。24時間いつでも連絡が出来る体制が整い、安心してケアを行う事ができるようになりました。	入所時に終末期に向けた方針の説明をしているが、家族の思いは揺れ動くので状況変化に応じた話し合いを行っている。また当ホームは看取りの経験もあり、職員は勉強会を通して方針の共有を図り、主治医の指導を受けながら終末期の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期受診時や往診時等、主治医に対して急変時の初期対応等を相談しご指導を頂いており、実践力に繋げていけるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回 避難訓練を実施し、全員参加での訓練を行うようにしています。また、この時に合わせて運営推進会議も開催し、地域への案内状を配布し、地域の方やご家族にも訓練に参加して頂いております。	消防署の協力のもと避難訓練を実施し、独自のチラシを各家庭に配布したり、町内のゴミ置き場に貼り、呼びかけをしている。連絡網やスプリンクラーも設置され、職員は安全対策委員会でダンボール担架を生み出すなど積極的である。備蓄もある	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に自尊心を大切にし、声掛けを工夫し、最後まで羞恥心が残存する事、わが身・わが家族に置き換えたケアに努めております。	一人ひとりの権利を保障し人格を尊重するように、目線での声掛け、名前で呼ばれるのを嫌う方の呼びかけなど、具体的に確認し配慮している。また個人情報も管理者で人目に付かない場所に確保され、プライバシーも守られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意思確認を行いつつ、安全面を優先させながら、自己決定できるように努めております。また、できにくい利用者には時間をかけて説明する等工夫をしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事や緊急事態時以外は、出来るだけ本人のペースで生活出来るようにと考えております。拒否があれば無理強いしないように話し合いを持ちながら支援するように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	同じ衣類に執着されたりする事もありますが、一緒にタンスの整理を行いながら自分で選ぶ楽しさを持って頂くように努めております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下処理・簡単な家事作業・味見・お盆拭き等一緒に行い、主婦としての関わりを忘れないように努めております。	利用者の声を聞いてその日のメニューが決まり、野菜の下処理、味見や配膳など、利用者の力の発揮や参加で職員との関係を深めている。また季節の保存食の準備や手作業は得意の分野であり、喜びの場面もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	疾患に応じて水分量や栄養量・摂取 量を考慮し、食事形態等も検討しな がら自己摂取出来る事を優先に考え ております。また、必ず一番最後に 食べる物と決めておられる方もあり ます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと義歯洗浄を徹底 し、口腔内が不潔にならないよう に努めております。また、出来るだけ 義歯の取り外し、うがいは自分の力 で行って頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンに合わせ、 希望に応じてトイレでの排泄や パット使用を検討したり、漫然 とオムツに依存する事無く、少 しでも排泄自立に向けたケアを 行うように努めております。	一人ひとりの排泄パターンを活かし てトイレ誘導を行い、失敗した時も 自尊心を傷つけない配慮の声かけ と、清拭を行っている。パットやオ ムツの使用を減らす工夫をしたり、 排泄の自立支援に向けたケアとなっ ている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維や水分量等をこまめに チェックし、個々に応じた活動 量や本人にも腹部マッサージを 行なってもらう等して便秘予防 に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	入浴の順番は日の健康状態を見ながら、希望やタイミングを見ながら、声かけを工夫し個々に応じた入浴を支援致しております。	週3回の入浴であり、健康状態を見ながら声かけをしている。利用者が皆さんお風呂好きと言う事もあり、じゃんけんで順番を決めたり、温度差を考慮して脱衣所を暖めたり、入浴を楽しめる支援となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の睡眠状態を考慮して起きて頂くようにしたり、休憩時間も個々で日により変化させております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が常に医療カルテで確認したり、症状や副作用等についても把握するように努めております。また、与薬時も職員間で声に出して確認するように努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個人の生活歴や趣味を考慮しレクリエーション活動も個別に計画したり、完成させる楽しみを持って頂いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣のラーメン店やドーナツ店と一緒に外出しお茶を楽しみました。家族も安心して頻回に外食に連れ出して下さるようになりました。また、家庭菜園の野菜も収穫出来るようになりました。楽しみの一つになっております。	利用者の希望にそって、近隣のお店へ出かけたり、家族と外食を楽しんでいる。年一回はファミリーレストランから送迎があり職員や利用者全員での外食も楽しみの一つである、ボランティアの手伝いをもらい、花見や敬老会、イベント行事に参加したり、日常的な外出支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布に現金を持っておられる方もあります。受診時等しっかりとバッグを持って行かれます。また、家族との外出時もお金の心配をされ、バッグを持って行かれます。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	お一人携帯電話を持っておられますが自分では使用出来ません。家族の面会時に県外の娘さんにお部屋からかけて、長い時間話されますが、話した記憶はすぐに途切れております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの大きな窓から桜島の爆発が見え共通の話題になります。また、玄関に出て花や景色を見られる方もあり、季節を感じる事が出来る空間があります。	玄関を入ると明るく広いフロアと、眺めの良い窓、ベランダには季節ごとの花や野菜も眺めることができ、利用者が洗濯物をたためる量の間や、ゆっくりくつろげるソファが設置されている。廊下や階段の壁には利用者の作品が飾られ、季節の花も生けてあり、居心地よく過せる共用空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自分で部屋に帰りたい時に帰ってくつろいだり、部屋にテレビがあってもやはりホールに出てきたりと自由に行き来されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に馴染みの物を持ち込んで自分なりの収納方法をされていますので、危険につながる限り制限は致しておりません。	ゆったりとられた居室は掃除もゆき届き、てすりも取り付けられている。使い慣れたベッドや家具、ソファが利用者の使いやすい位置に据えられ、写真や位牌など、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや表札・掲示物等本人の視線に合わせて、自分の判断で行動できるように配慮致しております。		

**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない